

# 生分解性マルチの効果確認試験

JAゆうべつ町

井上 豊



6.24撮影 カエルーチ



6.24撮影 きえ太郎Z



6.24撮影 畑楽マルチ



10.8撮影 カエルーチ



10.8撮影 きえ太郎Z



10.8撮影 畑楽マルチ

### 試験目的

生分解性マルチの効果確認試験

### 試験作物 及び品種

南瓜

### 試験資材 及び数量(規格)

きえ太郎Z(0.015mm×95cm×400m) 銀ネズ

### 慣行資材

畑楽マルチ(R2年度製造)・カエルーチ

### 栽培方法

定植日

6月6日

収穫日

9月25日

【栽植密度】

株間：60cm

### 資材使用期間

6月4日～9月25日

### 試験結果

#### (1)作業性について(慣行品との比較)

機械との相性という面では畑楽マルチと比較しても同等の作業性であった。カエルーチはマルチ両サイドに土をかける際、コールターにマルチがひっかかることがあり、扱いにくい。カエルーチの方が試験品よりも製品の厚さはあるものの、若干試験品の方が丈夫で固い感触があり、作業しやすい。

#### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

生育に関しては畑楽マルチ区が若干初期生育が良かったが、試験品の初期生育も悪くない。最終的な収量に関しては畑楽マルチの方が若干良かった。

畑楽マルチはマルチ表面に水滴がついており、保温性・保湿性ともに試験品よりも良いと考えられる。

#### (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】カエルーチよりもフィルムに固さがあり作業しやすい。

#### (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

今年は雨が非常に少なく、分解も例年よりは遅かった印象。しかし、収穫時にはある程度崩壊しており、試験品はすぐに破ける状態であった。カエルーチも同程度の分解が進んでいた。畑楽マルチに関しては若干伸びがある状態であった。

#### (5)保温効果について

カエルーチと比べても生育に差はないことから保温性に関しては問題ない。

#### (6)雑草・病害虫の発生について

例年は雑草にマルチが破られることが多いが、干ばつの影響か今年は雑草が少なかった。銀ネズという色が雑草に対してどの程度効果を発揮するか確認したかったが、今回は確認できなかった。

### モニター感想

今年は雨が少なく分解も例年より遅く感じた。しかし、試験品はある程度分解しており問題なく使用できた。収量に関しても慣行品とほとんど変わらなかったため、継続して使用できる資材だと思う。個人的に価格次第では切り替えを検討している。

### JA担当者の感想(中原係長)

マルチの色が銀ネズということで、色による保温性・雑草防止の観点でどれほど効果があるか見たかったところではあるが、今年は雨が少なく気温が高い年だったためか、雑草はどの地区でも目立っていなかった。生分解性マルチはすき込みを行えば、マルチをはがす必要がないため、省力化資材としてはとても有効だと感じている。しかし、普通のポリマルチと比べると非常に高価なため、何らかの方法で安くできるとさらに普及していくと思う。

### 今後の使用について

継続して使用したい。  
マルチ資材としては十分に役割を果たしているので、価格次第では切り替えを検討している。